

# 《最近の県内経済》 (2023年1月を中心として)

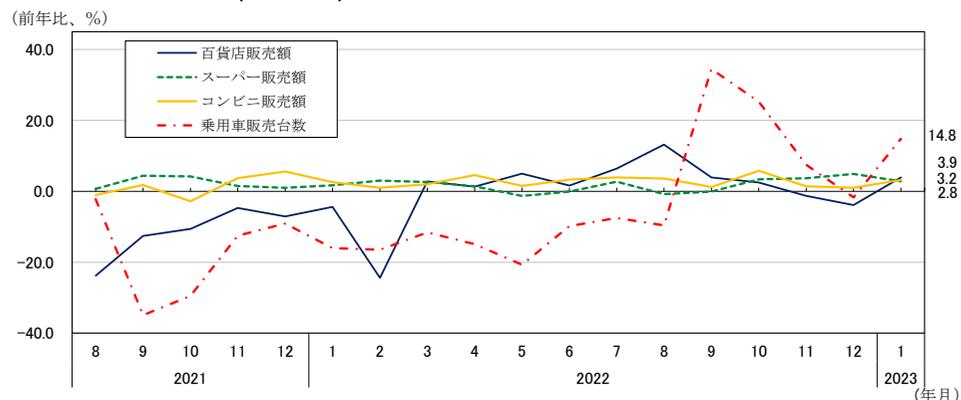
2023年3月31日

## 今月の概要

基調として緩やかに持ち直している。

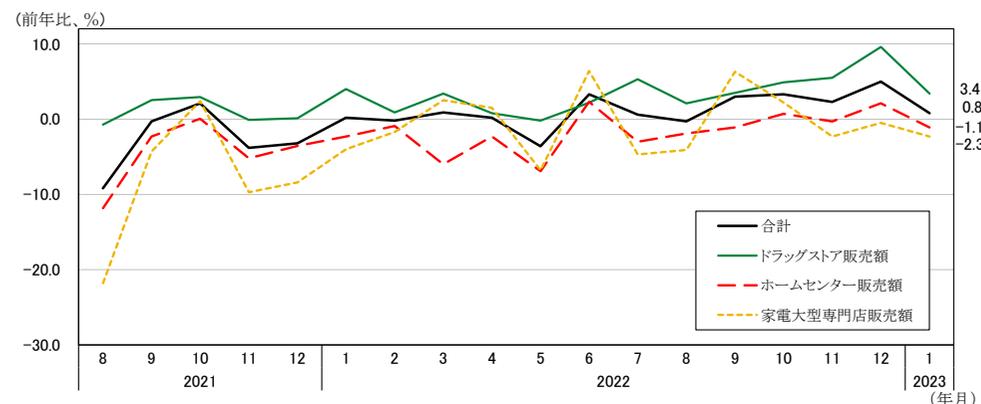
### 1 個人消費 ~基調として持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

1月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が123億円で前年比3.9%増（3か月ぶりの増加）、スーパーは999億円で同2.8%増（4か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は539億円で同3.2%増と15か月連続の増加となった。スーパーやコンビニでは、行楽需要やイベントの再開等により、お弁当や総菜類、ソフトドリンク等が好調だった。

また、乗用車販売は、前年比14.8%増と2か月ぶりの増加となった。内訳をみると、小型車が同比6.3%減と3か月連続の減少となったものの、軽乗用車が同25.7%増の5か月連続の増加、普通車が同20.7%増と2か月ぶりの増加となった。

1月の専門量販店販売額は、758億円で前年比0.8%増と5か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が203億円で同2.3%減（3か月連続の減少）、ドラッグストアが391億円で同3.4%増（8か月連続の増加）、ホームセンターが164億円で同1.1%減（2か月ぶりの増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、12月〈31.6〉、1月〈31.6〉、2月〈31.6〉で推移している。

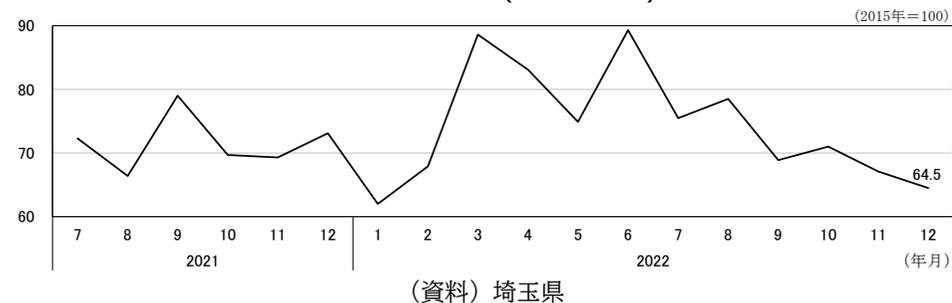
## 2 設備投資 ~持ち直している



1月の民間建築着工床面積(非居住用)は、260千㎡で前年比164.4%増と4か月ぶりの増となった。(5か月後方移動平均では前年比14.4%減)。

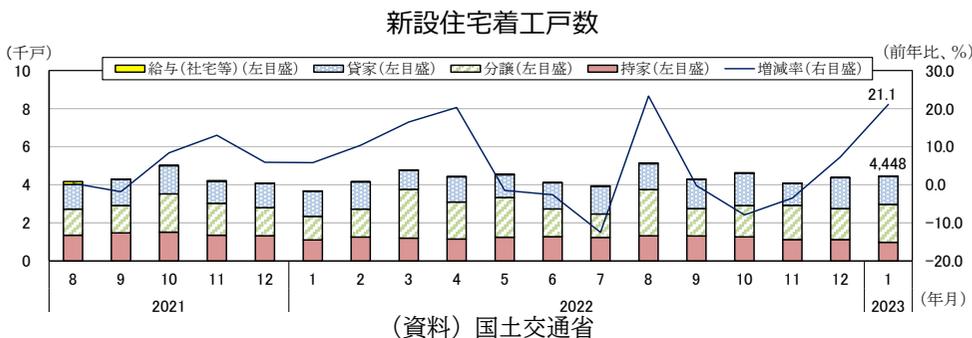
用途別にみると、工場及び作業場、病院・診療所は減少したものの、事務所、店舗、倉庫がいずれも増加した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



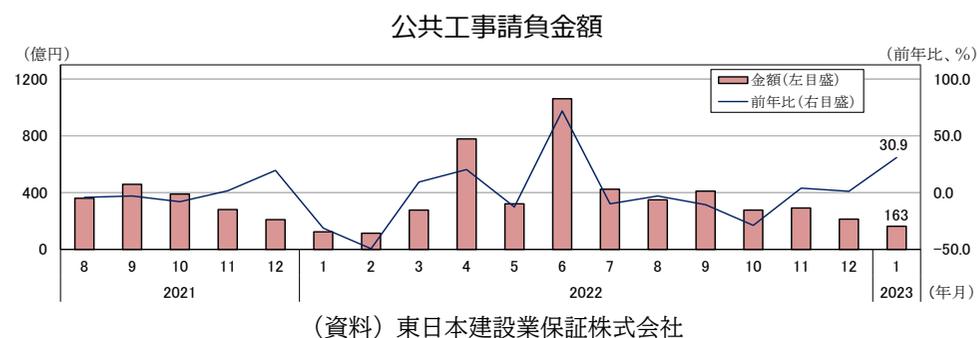
12月の資本財出荷指数(季節調整済)は64.5で、前月比3.9%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均では、前年比2.2%減)。

## 3 住宅建設 ~横ばいとなっている



1月の新設住宅着工戸数は、4,448戸で前年比21.1%増と2か月連続の増加となった(5か月後方移動平均は2.4%増、2か月連続の増加)。利用関係別にみると、持家(981戸)が同11.0%減となったものの、貸家(1,474戸)が同10.7%増、分譲マンション(736戸)が同308.9%増、分譲一戸建(1,247戸)が20.7%増といずれも増加した。

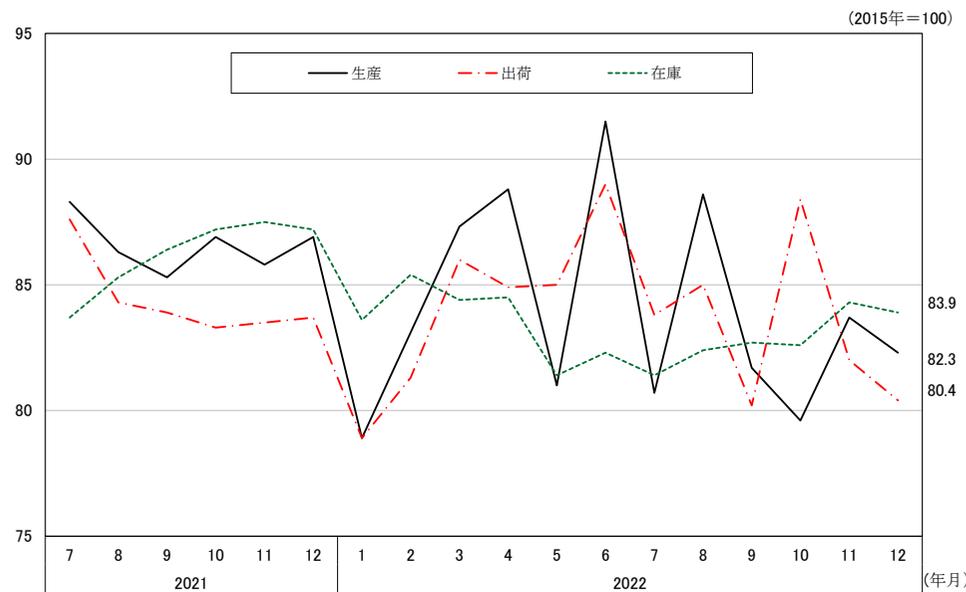
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



1月の公共工事請負額は163億円、前年比30.9%増となった(3か月連続の増加)。5か月後方移動平均では前年比7.5%減で推移。発注者別で見ると、市区町村、地方公社は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県は、いずれも増加した。

## 5 生産活動～このところやや弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



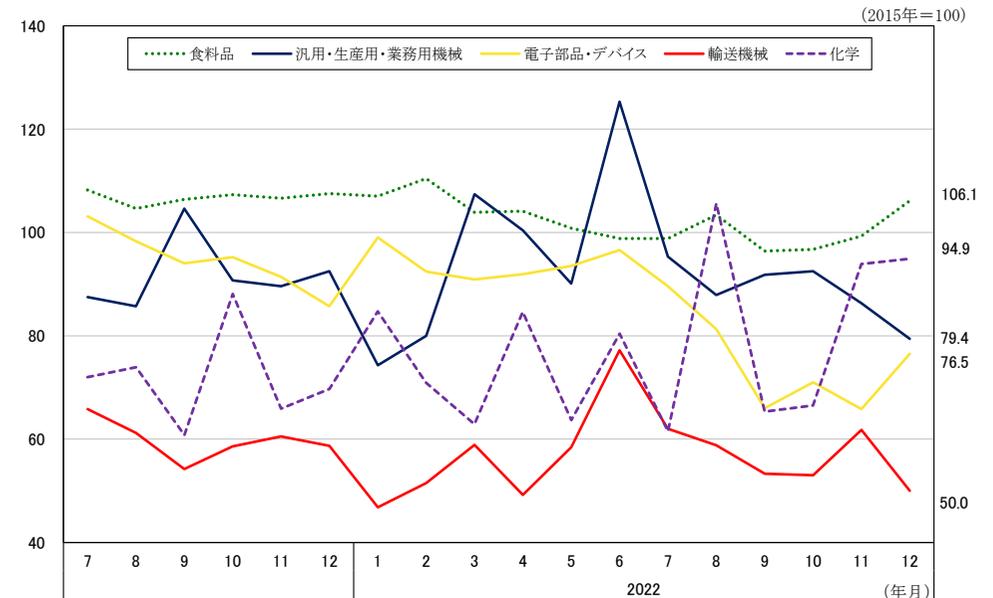
(資料) 埼玉県

12月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、82.3で前月比1.7%低下した(2か月ぶりの低下)。電子部品・デバイス(混成集積回路、プリント配線実装基板)、食料品(炭酸飲料、チョコレート)などが上昇したが、情報通信機械(ガス警報器、その他の陸上移動通信装置)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、80.4で同2.0%低下(2か月連続の低下)。食料品(炭酸飲料、粉乳)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、鉄鋼(鋼半製品、粗鋼)などが低下した。

在庫指数(同)は、83.9で同0.5%低下した(2か月ぶりの低下)。電子部品・デバイス(混成集積回路、線形半導体集積回路)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが上昇したが、輸送機械(普通トラック、けん引車)、鉄鋼(鋼半製品、普通鋼小形棒鋼)などが低下した。

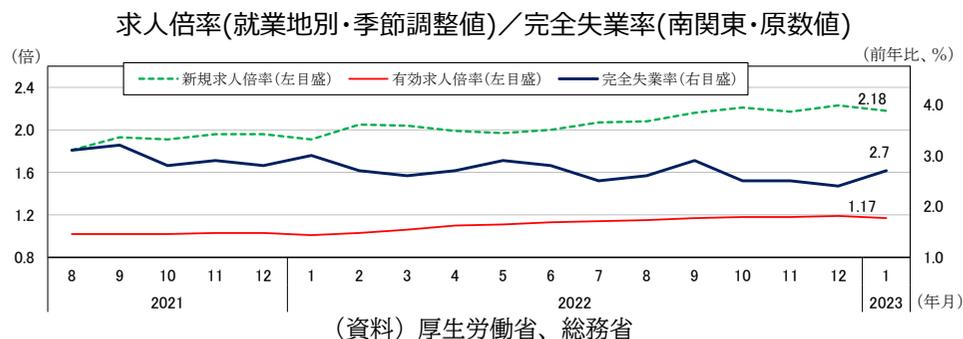
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

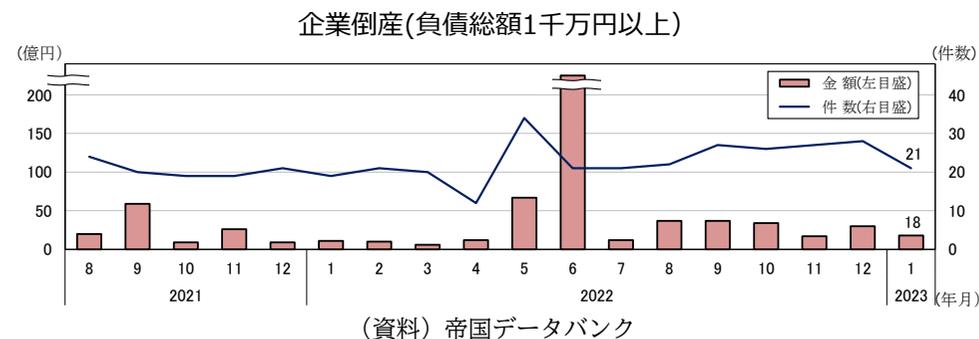
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、106.1で前月比6.8%上昇、3か月連続の上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、79.4で同8.0%低下、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、76.5で同16.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、50.0で同19.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、94.9で同1.1%上昇し、3か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢～穏やかに持ち直している



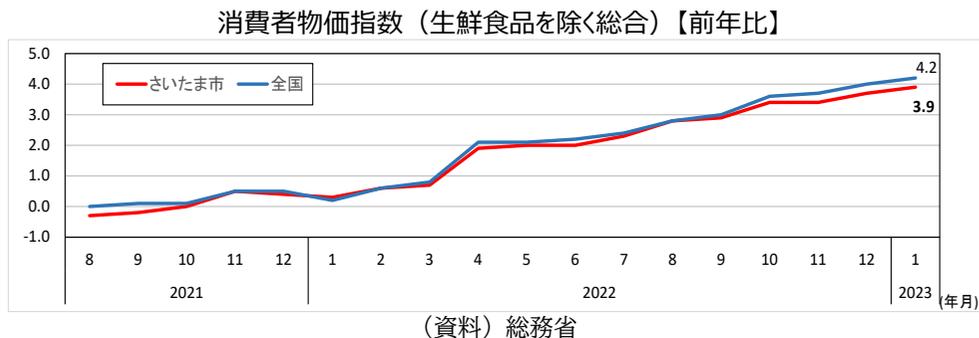
1月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比0.02ポイント低下した(12か月ぶりの低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.18倍で前月比0.05ポイント低下した(2か月ぶりの低下)。  
完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比11か月連続の低下)。

## 7 企業倒産～低水準ながら増加傾向にある



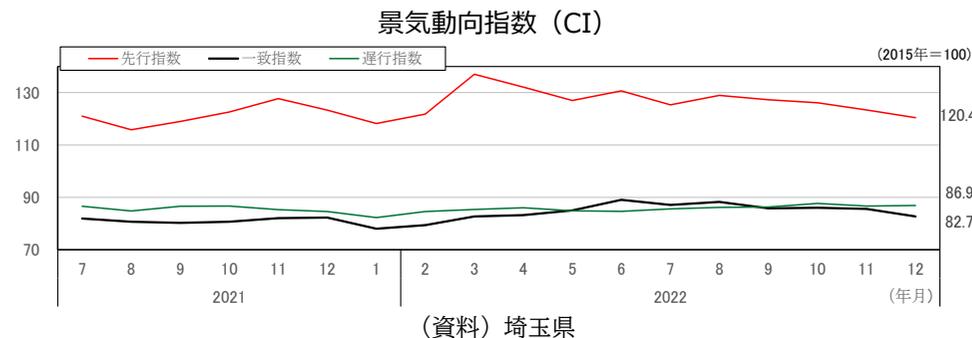
1月の企業倒産件数は、21件で前年同月比2件の増加となった。負債総額は18億円で同7億円の増加となった。  
業種別にみると、製造業が最多で5件、次いで建設業、小売業がそれぞれ4件、サービス業が3件と続いている。主因別では、販売不振が18件となっている。

## 8 消費者物価～上昇している



1月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.9%上昇した。食料品や光熱費の上昇が全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI)～足踏みを示している



- 12月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、82.7で前月比2.9ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、120.4で同3.0ポイント下降し、4か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、86.9で同0.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。